光栄歴史シミュレーションのすべてII
蒙古タイムス
Sheina michico

光栄とはかくなるものだった

ちょうど1年前、まったく同じこの12号に、『殿様タイムス』なる歴史のサブ教科書並みの付録があったのを覚えているかな。おっと、サブの教科書といっても、sub、すなわち〝副〟教科書という意味だから、間違えないようにな。

閑話休題。我々もあれからいろいろ光栄ゲームをプレーし、研究してみたところ、歴史シミュレーションシリーズには、『信長』、『三國志』、『ジンギスカン』という3本の柱があることがわかった。これらは歴史三部作と呼ばれ、光栄が歴史王になったタイトルたちである。事実、当初はこれら三部作のバージョンアップだけが発売されていた時期もあったのだ。

が、恐るべきことに、今回の調査によれば、この三部作が確立する前に、H三部作というものが存在していたのである。これらは初代『信長』が発売された'83年から'84年にかけて発売され、その官能的なタイトルでかなりのファンを掴むことに成功したようだ。恥ずかしいことに、編集部内にも、このソフトを保有している者がゴロゴロいるくらいである。

というわけで、今回は光栄歴史シミュレーションのすべて第2弾とし、歴史三部作とH三部作を紹介していこうと思う。この中には8年以上前の作品もあるが、こういう機会でもないと、光栄の初期作品を振り返る機会がないからな。しかも、この議題は去年の付録から引きずっているから、一度バシッとやっておかないと、読者もおさまりがつかないだろう。故きを温ねて新しきを知る、というやつだ。

何はともあれ、タイムスシリーズ第4弾。今回もためになっちゃうぞ。

光栄参り之図

光栄歴史ゲーム年表 第二版

タイトル	発売
蒼き狼と白き牝鹿・ジンギス汗	'85年7月
三國志	'85年12月
抄本三國志	'86年5月
信長の野望・全国版	'86年11月
蒼き狼と白き牝鹿・ジンギスカン	'87年11月
維新の嵐	'88年7月
信長の野望・戦国群雄伝	'88年12月
水滸伝・天命の誓い	'88年12月
提督の決断	'89年9月
三國志Ⅱ	'89年12月
大航海時代	'90年5月
ランペルール	'90年7月
信長の野望・武将風雲録	'90年12月
伊忍道・打倒信長	'91年7月
ヨーロッパ戦線	'91年12月
三國志Ⅲ	'92年2月
太閤立志伝	'92年3月
蒼き狼と白き牝鹿・元朝秘史	'92年6月

光栄歴史三部作

元朝秘史

蒼き狼と白き牝鹿

光栄の歴史シミュレーションゲームの中には、3つのシリーズがある。ひとつは、戦国時代における武将たちの戦いを描いた『信長の野望』シリーズ。またひとつは、中国の雄大なロマン『三國志』シリーズ。そして最後のひとつが、モンゴル帝国の創始者ジンギスカンの生き様をモチーフとした『蒼き狼と白き牝鹿』シリーズである。この『元朝秘史』は、その『ジンギスカン』シリーズの第3作なのだ。

『ジンギスカン』シリーズというと、歴史三部作のほかのふたつと比べると、どうしても地味というイメージがつきまとってしまう。しかし、それじゃゲームがあんまり面白くないのかというと、決してそんなことはない。ただ、なんとなく地味なのだ。この『元朝秘史』で、そのイメージをぜひとも払拭したいところである。

なにせ、モンゴルからユーラシア大陸全土を舞台とするこの作品は、光栄歴史三部作はもちろん、ほかの歴史シミュレーションを含めた中でも、最大のスケールを持ったゲームといえる。実に雄大なのだ。ロマンな感じだ。

実際、システムの点でも、男くささという点でも、ほかのふたつのシリーズに劣るものではない。このゲームの地味さは、やはりひとえに主人公ジンギスカンの知名度にあるのだろう。日本におけるジンギスカンの知名度は、信長はもちろんのこと、劉備や関羽、張飛などの三国志連中と比べても、かなり低い。ここはやはり、日本国民全員に『元朝秘史』をプレーさせて、ジンギスカンを知ってもらわねばなるまい。

➡『蒼き狼と白き牝鹿』シリーズの最新作である『元朝秘史』。あのジンギスカンが、ついに帰ってきたのだ。

『元朝秘史』のゲームシステムは、前作のそれとほとんど変わらない。モンゴル編、世界編の2部構成といい、人口配分による内政といい、オルドでの子作りといい、ゲームの基本的なところは、だいたい前作と同じような作りになっているのだ。と言っても、完全に同じというわけではない。それらが全体的に強力にカッコよくパワーアップされているのだ。さすがは、シリーズの第3作だ。

それにもちろん、前作になかった新たな要素も加わっている。世界各国の気候や文化の違いなどがそれだ。これによって、外交や戦争などが、より奥深いものになることは間違いない。

3年の月日をかけて開発された、『ジンギスカン』シリーズ最新作、『元朝秘史』。光栄歴史シミュレーションのラインナップを、より強力なものにすることうけあいの一作といえるだろう。

光栄 H 三部作 その1

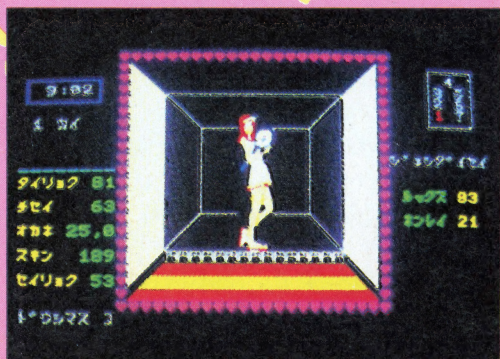
団地妻の誘惑

光栄のアダルトソフトといって、まず最初に思い浮かんでくるのは、やはりこの『団地妻の誘惑』であろう。最近の若いユーザーは、まったく知らないかもしれないが、ちょっと昔のパソコンユーザーなら、誰もが感慨深くその名前を思い出すことができるはずだ。

主人公はセールスマン。扱っている品物は、例のゴム製品だ。それを、団地の中を一件一件回って売りに行くのだが、訪問先では女子大生や若妻が待ち構えていて、要するに、合体してしまう、というソフトだったわけだ。

早い時期からロールプレイングゲームに目をつけていた光栄だけあって、このソフトもロールプレイング仕立てになっている。日本で初めての、アダルトロールプレイングゲームというわけだ。この流れは、その後に発売される「オランダ妻は電気ウナギの夢を見るか？」に受け継がれていくことになる。

現代でも、ある種のノスタルジーとともに思い出されるこのゲームは、まさしく時代の名作と呼ぶにふさわしいだろう。光栄とアダルトソフトの黎明期を支えるという、非常に重要な役割をした作品だった。

➡元祖アダルトロールプレイング、『団地妻の誘惑』。このグラフィックで、みんな興奮したものだった。

三国志Ⅲ

中国三大奇書のひとつ、『三国志』をモチーフにしたシミュレーションゲーム、『三國志』シリーズ。このシリーズの最新作が、ご存じ『三國志Ⅲ』である。後漢の時代の中国に吹き荒れた、戦乱の嵐。天下を我が手にせんと、覇を競い、戦い続ける英雄たち。そんな男たちのロマンを描いた『三國志』シリーズは、'85年の初登場以来、全国の歴史シミュレーションファンの心を捕らえて放さない。元祖『三國志』から、『三國志Ⅱ』を経て次第に成長してきたこのシリーズも、ついにこの『三國志Ⅲ』にまで発展してきた。

光栄歴史三部作の中で、もっともエンターテイメント性が高いのが、『三國志』シリーズだろう。これは、ゲームの原案となったのが、『三国志演義』という完全な物語であるためだ。この事実により、『三國志』シリーズは、三部作のほかのシリーズとは、微妙に違った立場に立たされている。しかし、それが悪いといっているのではない。むしろ、その逆だ。

日本人によく知られすぎている、織田信長、戦国時代。また、あまりにも実態を知られていない、ジンギスカンの一生。

➡これが『三國志Ⅲ』の画面。『三國志』シリーズの最新作だ。中国を統一するために、今日も戦い続けるのだ。

『三国志』は、この両者のちょうど中間に位置する。そしてこの位置は、ゲーム的にもっとも可能性を秘めている位置でもあるともいえるのだ。"史実"にがんじがらめにされている信長や、あまりにも巨大で、つかみどころの見つけにくいジンギスカンに比べると、『三国志』は非常にバランスが取れている。ゲームにするには、まさにうってつけの素材といえるだろう。

この『三国志』が、中国の物語でありながら、日本において非常に高い人気を得ているのは、魅力にあふれる登場人物たちのおかげであろう。『三國志』シリーズは、その魅力を十分に再現しているのだ。

極論してしまえば、『三國志』シリーズでは、人物がすべてなのだ。なぜなら彼らは、歴史上の人物である前に、物語上の人物であるからである。そのほかの要素は、すべて人物を活かす形でのみ存在すれば、それでいいのである。

そういう意味において『三國志Ⅲ』は、かなりのレベルを実現している。過去の2作以上に、人物を描き切ることに成功したのだ。そのため、システムは多少難解になったが、それがほとんど気にならないほどうまくできているのだ。

今後も、『三國志』シリーズには、エンターテイメント性をひたすら追求していってほしいものである。

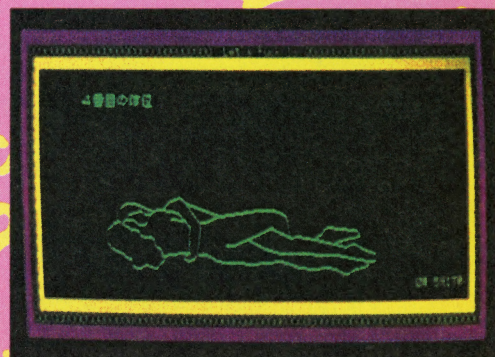
その2 ナイトライフ

『ナイトライフ』。プレーしたことや、見たことはなくても、この名前だけはどこかで聞いたことがある、という人もいるだろう。『皇帝タイムス』とかにも書いてたからな。そう、この『ナイトライフ』こそ、日本で最初のアダルトソフトなのである！　すべてのアダルトソフトは、ここから始まったのだ。発売されたのが'83年のことだから、今から9年前になる。

このソフトは、生年月日や生理日などのデータを入力すると、安全日、危険日の計算から、どんな体位がいいかまで教えてくれるというものであった。さらに、いわゆる48手というヤツを詳しく教授してくれたりもするモードもついており、どちらかというとアダルトソフトというよりは、実用ソフトに近いノリであった。もちろん、グラフィックもただの線画で、今から考えればまさに見るカゲもない、といったところだろう。

しかし、ここで大反響が起こった。このソフトは、パソコンユーザーたちの心をガッチリとつかんだのだ。『ナイトライフ』は、パソコンソフトの新たな可能性を示していたのである。

要するに、この一本のソフトが、パソコンゲーム界にアダルトソフトというまったく新しいジャンルを作りあげたのだ。その後のその方面の発展ぶりは、皆さんよくご存じのとおりである。

➡日本のアダルトソフトの草分け、『ナイトライフ』。すべては、ここから始まっていったのである。

信長の野望

武将風雲録

ああ、信長さま、信長さ、あっ！　という人たちの超必須アイテムとして有名なソフトが、この『信長の野望』シリーズである。というのはアレなので置いとくとして、光栄がブームをチェックしているか、それともその逆なのかは知らないが、歴史シミュレーションはブームになりやすい。たとえば、『信長』は今年の大河ドラマの題材だし、『三國志』は雑誌、映画やビデオなどで大ブームだ。最新作の『ジンギス・カン』にいたっては、映画が作られるといった塩梅である。タイムリーというかなんというか、そういったわけで、この『武将風雲録』も'90年に発売されたにも関わらず、いまだに根強い人気を誇っているのだ。

もちろん、話題だけでは人気がこうも長続きしないわけで、ヒットの裏にはゲーム性の高さがあったからだろう。この『武将風雲録』は『信長』シリーズの４番目にあたり、現在のところ最新作だ。初代『信長の野望』は17ヵ国を占領するのが目的で、『全国版』では50国に数が増える。そして、次の『群雄伝』になると攻城戦や時間、家臣といった概念が入り、『武将風雲録』で戦場のバリエーションを増やして、文化や他国との外交問題を導入している。最初のバージョンから遊んでいれば、武将の名前がわかり、そのうち、どの大名にどの家臣がいるかが理解でき、最新作にいたっては、文化まで理解できるという寸法だ。下手な教科書より楽しみながら学べるし、ここまでくると、プレーヤーも信長や戦国時代に興味を持ち、自分自身で資料を調べるようになる場合もあるという。

光栄には『信長』のほかに『三國志』という巨大なラインがある。が、やはり『信長』のほうが"顔"的存在であるため、新しいシステムはこちらの作品で試されている。これで裏目に出る部分もあるが、逆に成功した部分はほかのゲームに導入されているので、常に光栄の最新システムであると言えるのだ。

最後になるが、なぜ織田信長という人物は人気があるのだろうか？　編集部にも、信長に誘われたらいたしかたあるまい、という強者（無論男）がいるが、その人物曰く、「男らしいから」だそうだ。軟弱な男性が多い、と嘆かれる現在、信長の人気はここにある、と思うのだが……。

➡歴史シミュレーションの最高峰であるが、信長を中心とした設定が人気の秘密か。機種によって仕様が異なる。

オランダ妻は電気ウナギの夢を見るか？

その3

フィリップ・K・ディックの『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』をパロディーにしたのが、この『オランダ妻は電気ウナギの夢を見るか？』だ。原作のほうは、『ブレード・ランナー』というタイトルで映画化され、大ヒットしたから知っている人もいるだろう。

で、光栄の『オラ妻』（長いので略す）だが、これはなんとロールプレイングゲームなのである。また、当時、もちろん今もそうなのだが、ロリロリした絵柄が多い中で、このソフトはアダルトな下着女性が登場したりと、ほかの物たちとは一線を画している。

このＨ三部作はいずれもアダルト路線であり、まさに大人のゲーム作りをしている光栄らしい作品といえるだろう。ちなみに、このソフトが発売された'85年の年末には、『三國志』が登場するのである。つまり、この年を境に光栄は硬派なシミュレーションゲームメーカーとなっていく。おそらく、読者の大半はこのあとの時代から、光栄ゲームに接していくと思うのだが、この時期を懐かしむ声も多い。

最後に、このソフトのパッケージは一見の価値ありである。南極なんたら号と呼ばれる商品が事細かに描かれ、下っ腹がたぎること請け合いだからだ。

⬅知らない人にはただの強烈なタイトルだが、知っている人にとっては、おいおいおい、な感じだ。無念。

光栄ギャグ100連発 最強版

Full Power!!

●貫く
ジャムカ　よいか。ジンギスカンは好色な男と聞く。今宵そなたを召したときに、この短刀でヤツの胸を貫け！
女暗殺者　ハッ。かしこまりました。
その次の日。
女暗殺者　申しわけございません。暗殺に失敗してしまいました。
ジャムカ　そうか。しかし無傷で逃げ帰ってこれたのはなによりじゃ。
女暗殺者　い、いえ。無傷では……。
ジャムカ　ど、どこかに傷を負ったのか？
女暗殺者　ハイ。見事に貫かれてしまいまして……。ポッ。

●貫く　その2
ジャムカ　ええい、もう女の暗殺者はダメじゃ！　今度はお前に任せる。今宵、この短刀でヤツの胸を貫け！
屈強な男　ハッ。かしこまりました。
その次の日。
ジャムカ　おおっ、帰ったか。しかしその短刀が血塗られていないところを見ると、暗殺には失敗したか……。
屈強な男　いえいえ。しっかりこの長刀で貫いてやりましたわい！
と言いつつ男、自分の股間を指差して……。

●刺さる！
ジンギスカン　おいカサル！　昨夜のわしの護衛はおぬしに任せたはず。なのに夜中にわしを襲った賊を見逃すとは、どういうことじゃ！　居眠りでもしておったか！
カサル　いえ、昨夜はしっかりと寝ずの番をしておりましたが……。
ジンギスカン　それではなぜ賊が忍び込んだのに気づかなかったのじゃ！
カサル　いえ。昨夜、男がハーンの陣幕を訪ねたことも知っておりました。
ジンギスカン　ふむ。それではなぜ、危険に気づいてわしが叫んだ叫んだときに、すぐに助けに来なかったのじゃ？
カサル　私をお呼びになられましたか？
ジンギスカン　「カサル！　カサル！」と何度も叫んだわ！
カサル　ああ。私はてっきりハーンが「刺さる！　刺さる！」と、喜んでおられたのだとばっかり思って……。

●その馬を使って……
あるときジンギスカンは、合戦中の部隊を励ますために、自ら馬を駆って前線の部隊を視察に行った。
家臣　これはハーン。こんな所までようこそいらっしゃいました。
ジンギスカン　うむ。そなたたちの働きで、この戦いにも勝てそうじゃ。しかし、ここはホントに何もない所じゃの。兵士たちは夜はどうしておるのじゃ？　若い兵士たちは、男ばかりで困るじゃろう。
家臣　いえいえハーン。その点は心配ございませぬ。
ジンギスカン　というと……？
家臣　兵士たちはみな、あそこにおります馬を使って……。
ジンギスカン　なんと！　あの馬を使うとな!?　それではさっそく、わしも試してみよう。ホッ、ハッ、フンッ！　な、なかなかよい具合じゃないか。ホッ、ハッ！
家臣　ああ、ハーンよ、違います。その馬を使って……。
ジンギスカン　ホッ、ハッ！　ん？
家臣　その馬を使って、近くの村に出るんです～！

●部族の名前
ジンギスカン　ふう。なんとかナイマン族との戦いにも勝てたな。おお。兵士たちはさっそく略奪に走っているようじゃな。これが戦いの掟。負けた側の物は、みんな勝った側が奪ってよいのじゃ！
兵士　ハーン。金銀財宝や馬はいくらでもあるんだけんども、肝心の女がひとりも見当らねえど……。
ジンギスカン　ふむ、おかしいのう。スブタイよ。これはどういうことじゃ。
スブタイ　ハーンよ。おそれながら、それは当然のことかと存じます。ハーンがお倒しになられた部族の名前はナイマン族。女がいないのは当たり前……。
ジンギスカン　ぎゃふん！

●調べてみる
ある日の昼下がり。ジンギスカンが、撃退した敵部族の略奪品を調べていると……。
カサル　ハーンよ。あなたはいまや我が部族にとって大切なお人。略奪品にもしも毒が塗ってあったりしたらどうします。些細な傷口から、毒が入らぬとも限りません。あとは私が調べますから、ハーンはどうかお休みください。
ジンギスカン　そうか。それは気づかなかった。あとは頼んだぞ。
その日の夜。酒宴を済ませたジンギスカンが、お楽しみのオルドに行ってみると、何者かがすでに捕らえた姫と……。
ジンギスカン　カ、カサルよ！　そちはいったいここで何をしているのじゃ!?
カサル　昼間も申したとおり、略奪品には毒が。ですからこうして私が調べているワケです。じゃ、そういうことで。ホッ、ハッ、フンッ！

●調べてみる　その2
ジンギスカンがある夜、オルドを訪れてみると、またもやカサルがすでに姫と……。以前のことがあるので、ジンギスカンはそのまま帰って、翌朝カサルを召した。
ジンギスカン　カサルよ。して、昨夜の姫はどうであった？
カサル　はい。やはり私がお調べしてよろしゅうございました。
ジンギスカン　す、するとやはり毒が!?
カサル　何度も何度も丹念に調べてみた結果、やはり……。体の毒ですわ！
ジンギスカン　ぎゃふん！

●親馬鹿ジンギスカン
ジュチ　父上はなにゆえ私にジュチという名前をつけられたのですか!?　ジュチとは、モンゴルの言葉で〝よそ者〟という意味ではないですか！
ジンギスカン　それはそちが、そちの母、ボルテがチルゲル・ボコにさらわれたあとにできた子だからじゃ。
ジュチ　それでは私は父上の子ではないということなのですね！　うわ～ん！
ボルテ　あら、いまジュチが泣きながら出て行きましたけどどうかしたんですか？　まあそれはいいわ。あなた喜んで。また赤ちゃんができたみたいなの。
ジンギスカン　それはよい！　さっそく名前を考えなくてはな。
ボルテ　ううん、もうバカね。今度の赤ちゃんも、またジュチって名前に決まってるじゃない！
ジンギスカン　おやおや、またかい？　これでジュチって名前の子は100人目だぜ！　ハッハッハッ！

●これが真実！　元寇秘話
元の皇帝フビライは、大軍を送って日本に攻めてきたが、鎌倉幕府軍の手痛い反撃に

あって、日本侵攻を断念した。
フビライ　わしは、日本軍が油断しきっているという密偵の報告を信じて、日本攻めを決めたのじゃ！　間違った報告をした密偵をここへ連れて来い！
密偵　わ、私は日本兵に化けて、海岸を守っていた兵士から、たしかに日本軍が油断しているという証拠を聞き出したのです！
フビライ　敵は油断どころか、しっかり守りを固めていたではないか。お前は斬首じゃ！　誰かこの者を連れて行け！
密偵　ぐぅわぁ〜！
そのころ戦勝気分に浮かれる日本では……。
防人Ａ　いやあ、なんとか合戦には勝ったけんども、そういやあ開戦前夜、奇妙なことがあったなあ。
防人Ｂ　どんなことだい？
防人Ａ　海岸を守ってると、見慣れぬヤツがやって来て、「アンタはここで何をやってんだ？」って聞くんだよ。そこで、「オラ、ここでサキモリやってんだ」って言ったら、そいつ、「ああ、サキモリね。私もいける口なんですよ！」とかって、おちょこを口につけるマネして笑いながら去ってったんだ。
防人Ｂ　おかしなこともあるもんだ。まあ、どっちにしたって気にすることたあねえ。それよりオラたちも早く酒盛りに加わるべ！
防人Ａ　んだ、んだ。

●張飛の結婚式
豪傑、張飛と結婚することになった花嫁の母が、式の最中に涙をこぼし始めた。それを心配した花嫁の弟が、母にこう言った。
弟　お母さんはどうして泣いているの？うれし泣きなの？
花嫁の母は黙って首を振った。
弟　じゃあ、お母さんは悲しくて泣いてるんだね。だけど心配することはないさ。結婚するのはお母さんじゃなくて、姉さんじゃないか！

●保険
家臣　曹操様。城門の前にこんな物が置かれていました。
曹操　ふむ。こ、これは火災保険の証書ではないか。しかも対象者が余になっておる。こんなイタズラをした不埒者は誰じゃ！さっそく探し出せ！
一方そのころ、蜀の国では。
劉備　孔明。そちはわざわざ魏まで行って、曹操に火災保険をかけてきたそうじゃないか。いったいどういうことなのじゃ？
孔明　はい。忠告をしてさしあげようと思いまして……。
劉備　忠告？
孔明　なにぶん、赤壁の戦いが近うございますからなあ。

●虎退治
あるとき、関羽、張飛、趙雲、黄忠、馬超の５人が、日本の戦国武将、加藤清正と対決した。それを見ていた農民の話。
農民Ａ　いくら清正様が強くても５人を同時に相手するのは無理じゃろう。これは三国志の方々の勝ちじゃ。
農民Ｂ　いやいや。これは清正様の勝ちじゃ。なぜなら、三国志の方々には、絶対に清正様に勝てないワケがあるんじゃ。
農民Ａ　それはまた何で？
農民Ｂ　清正様の武勇伝の中で、一番有名な話を思い出してみろよ。清正様は虎退治で有名なお方なんだぜ！

●魏呉同舟
あるとき、魏の部将、夏侯惇と、敵対する呉の部将、周瑜が同じ舟に乗って川を渡るというアクシデントが起きてしまった。
夏侯惇　チッ。さすが呉の誇る揚子江だ。部将が腐ってるせいか、川まで腐ってイヤな臭いを出しおるわい！
周瑜　おお。これは川の腐った臭いであったか。私はてっきり貴儀の体臭かとばかり思っておりましたがね！

●七人の影武者
戦国時代。希代の名軍師と呼ばれた真田幸村は、大坂の陣において、自分そっくりの七人の影武者を使って、徳川方を翻弄した。影武者たちは常に幸村の側にあって、陰に日向に幸村を補佐したという。その幸村の身に起きた、ある夜の出来事である。
幸村　ふう。合戦で長らく家を離れていたからな。その……、今夜あたりどうかと思うのじゃが。
幸村の妻　殿。今夜はもう勘弁してくださいませ。私、もう疲れ果てております。
幸村　な、なんと！　これまでそなたは、いつでもＯＫだったではないか！
幸村の妻　そんな無茶は申さないでください。先ほどから部屋を出たと思ったら、またすぐに戻って来て、もう今度で８回目でございますよ！

●名馬
奥羽の覇者、伊達政宗の父、輝宗は、早くから織田信長の活躍に目をつけ、近づきのしるしに奥州産の名馬を送った。
信長　ヘイ、テルシー。この間もらった馬だけど、なかなかナイスな馬じゃないか。どんなに荒い乗り方をしても、全然根を上げないんだな。
輝宗　オー、信リン。ユーはビッグミステイクを犯してるぜ。
信長　ホワット？
輝宗　奥州産の馬の良さは乗るだけじゃなく、乗られてみて初めてわかるのさ！

●もったいない！
三方ヶ原の戦いにおいて、甲斐の虎、武田信玄に完敗を喫した徳川家康は、武田軍のドトウの追撃に恐れをなすあまり、馬の鞍の上に思わず脱糞してしまった。ところがそれを、家康を愛することひとかたならぬ忠臣、本多忠勝に見つかってしまった。
忠勝　殿、ご無事でなによりでしたが、その馬の鞍の上にある物は何ですかな？
家康　あ、ああこれは、み、味噌じゃよ。あまりの激戦ゆえ、つい携帯食の味噌をこぼしてしまったんじゃ。
忠勝　なんともったいない！　拙者、ただいま丁度腹が減っておりますゆえ、失礼してその味噌を食べさせていただきます。
困った家康は、ついに忠勝に本当のことを話してしまった。事情を知った忠勝、思わず大声を上げて……。
忠勝　それじゃ、なおさらもったいない！

●猿廻し
戦国時代のある有名な猿廻しが、ときの関白豊臣秀吉に招かれた。ところが猿廻しがふとした隙に、賢い猿は首輪をするりと抜けて、秀吉のいる部屋に逃げ込んでしまったのである。あわてて追いかける猿廻し。秀吉の部屋に入ると……。
猿廻し　これは関白殿下。とんだ失態をお見せいたしまして申しわけございません。ただいまさっそく芸のほうを始めますので、どうかご安心ください。
と深々と猿におじぎをして、秀吉に首輪をかけたのだった。

●串刺し
ときは政情激変する幕末。有馬新七ら、薩摩の急進派の志士たちは、京都所司代を襲撃するため、伏見の寺田屋に宿泊していた。しかし企てを知った島津久光は、逆に襲撃隊を送って、有馬らを斬殺して、決起を未然に防いだのである。
大久保　西郷さん、聞きもうしたか。いま寺田屋で、西郷さんの幼なじみの有馬どんらが殺されたそうです。
西郷さん　なんと！　同じ薩摩人どうしで殺し合うなど、無益なことなのに……。して、有馬どんの最後は？
大久保　敵のひとりをはがい絞めにして、「オイごと串刺しにせい！」と叫んで、敵もろとも仲間に串刺しにされたそうです。さすが薩摩隼人でごわすな。
西郷さん　そうそう。思い出すのう。有馬どんは昔から串刺しが好きじゃった。小さいころ山で遊んどるときも、よく尻をまくって「西郷どん！　オイを串刺しにせい！」と言ってたわい。

●最前線部隊
ドイツのある科学研究所での話。
ヒトラー　一刻も早く新型爆弾を完成させてくれ。我が軍は、そいつを連合軍の最前線部隊の頭上に落として、ひとり残らず焼き殺してやるのだ！
科学者　最前線部隊の頭上にですって？そんなことをしたら、同時に我がドイツも焼け野原になっちゃいますよ!?

まんが
桜玉吉
花のジンギスカンちゃん

ではこの問題を
誰にやってもらうかな

ギロ

ビクビク

ぐおー

ジンギスカーン!!

はい
ガタ

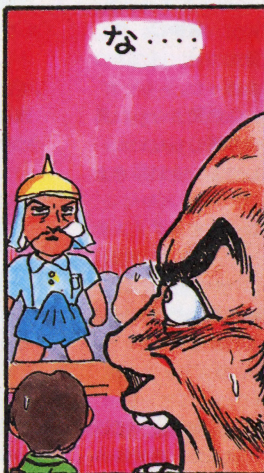
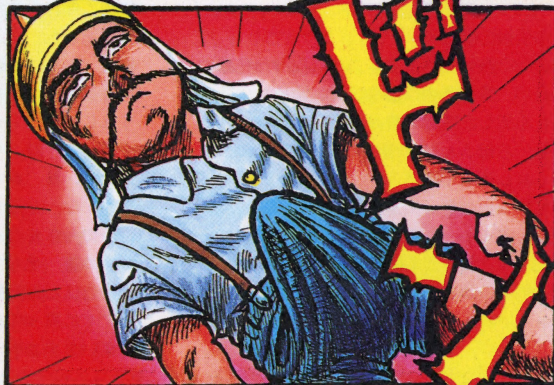
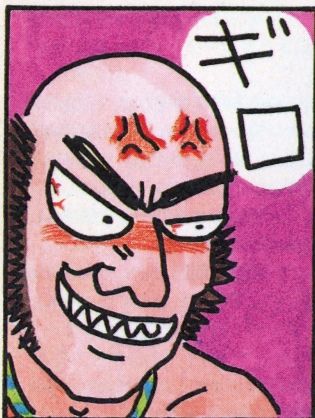
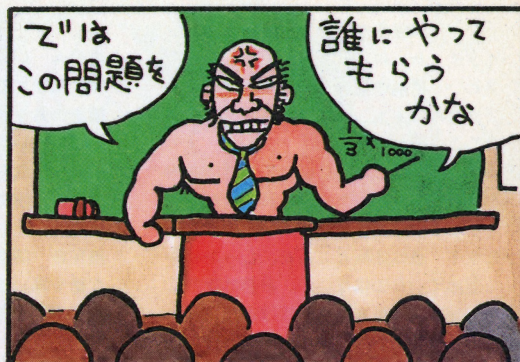
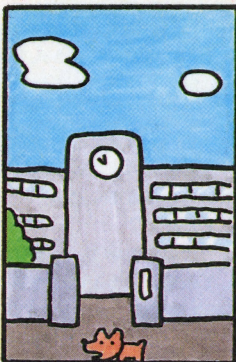
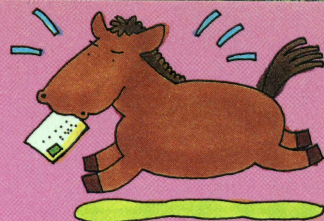
ドーン

おおー!

な‥‥

なんという豪胆さ!! いつ指されるやもしれぬというのに
なんと隆々と‥‥!!

クカー
終

読者からのおたよりコーナー

ジンギスカン

と聞いて、考えたのですが、モンゴルの騎馬軍団の人は、みんなお尻に蒙古斑があったのでしょうか。だとしたら、とてもすごいと思います。広大な草原を埋めつくす、蒙古斑のお尻。そんな光景を想像するだけで、もうゾクゾクとしてしまうのです。ボクは異常なのでしょうか。福田先生、よいアドバイスをお願いします。

（新潟県　蒼き蒙古斑と白き臀部）

コーナーが違います。

おたよりコーナーの編集者

モンゴル

の第一人者といえば、キラー・カーン氏をおいてほかにはいないでしょう。彼のモンゴリアン・チョップには、当時小学生だった私も魅せられたものでした。そこでひとつ提案があります。ぜひ、キラー・カーン対北尾のカードを実現させてください。山崎選手が北尾に負けてしまった今、プロレスの名誉を取り戻してくれるのは、キラー・カーン以外にはいないと思います。おねがいします、高田さん。

（岩手県　ミスターX）

あて先が違います。

蒙古タイムススタッフの編集者

モジャモジャ

モジャ〜、モジャモジャジャ〜。　（大分県　猪股平四郎）

何を言いたいのかわかりません。

憮然とする編集者

タイムス系

の付録は、いつもいつも下品なので、困っています。お母さんも、もうこんな本は買っちゃダメっていいました。ボクはログインが好きで、ずっと読みたいので、もうやらないでください。

（岐阜県　やまだこうじ　７歳）

今回もすごく下品です。

100連発こなした編集者

売ります

●我が家に代々伝わる、信長の頭蓋骨を売却します。希望者は、子供のものと大人のもののどちらがいいかをはがきに書いて、送ってきてください。価格は応相談。

（愛知県　信長収集家）

●ウチにはなぜかジンギスカン用のナベがあるので、売ります。　（東京都　書店村山）

●タイムスの付録が４冊とも揃っているのですが、いらないのでまとめて売ってしまうことにします。価格は二束三文。連絡は矢文で。

（埼玉県　池田熊助）

買います

●急にヒゲがほしくなったので、ヒゲを売ってください。ただし、長さは１メートル以上、くせっ毛は不可。値段は、1000本につき１万円。最低2000本から買い取ります。毛根がついているなら、さらに高額を支払います。売ってくれた方には、ヒゲをつけた私の写真をお送りします。連絡はW〒で。永久に待ちます。　（豊島区　伊集院たぬ子　主婦）

●馬を売ってください。なるべく若くて、元気なオスがいいです。詳しくは電話で。使い道は秘密です。　（山口県　加藤羊之助）

交換します

●私の玉璽と、あなたの兵3000を交換してください。おまけに張昭と張紘をつけてくれる人優先です。詳しくはW〒で。（蘆江　孫策）

●ウチにある妖刀が、夜な夜な血を求めてすすり泣くので、あなたの命と引き換えにしてください。切れ味抜群ですから、痛い思いはさせません。本当にあっという間です。OKでしたら、こちらから出向いていきますので、送料もいりません。連絡は、なるべく早いほうがいいです。　（静岡県　岩見重三郎）

光栄マニア必須アイテム

ガイドブックを何冊もっているか、ビデオやCDを買った、なんていうことでは、真の光栄ファンとはいえない。ここに詳しく書くまでもなく、このマイコン（当時ね）から光栄がスタートしたのである。中古屋にいけば二束三文だから、死んでも手に入れよう。

➡これを持たずして光栄ファンを名乗ってはならない。絶対だ。

ジンギスカン潜入ルポ

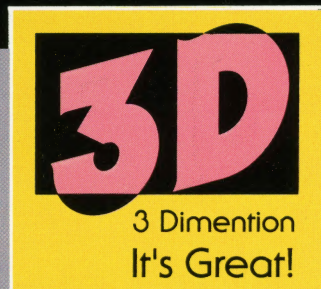
ここは、都内のとある場所。なんでも、ここにはその筋の人たちでさえ、骨抜きになってしまうお店があるらしいので、潜入レポをしたいと思う。とりあえず、近くの公衆電話からアポを入れると、場所を指定された。早速、足を運ぶと、そこは普通の家で、とてもアレをするところとは思えない。たまには家庭的な雰囲気のお店でやるのもいいものだ、と早くも、隆々としてきてしまった。

店の中はこういう商売の常として薄暗く、鼻にツンとくる匂いがたちこめている。プールの監視員をしていた記者は、懐かしい気さえした。驚くべきことに、この店には顔見世がなく、壁に並べられた名前だけで判断しなくてはいけない。もちろん、これは初回のみで、２回目からは指名できるそうだから、通ってみるのもいいだろう。

記者のところに来たのは、ラムという名前の子で、福よかな膨らみが目についた。我慢できず、いきなりむしゃぶりつくと、まだまだピンク色のそれはなかなかの堅さで、感動を覚える。ここで早くも１回戦終了。なかなか味わいだったので、受け付けで延長を頼み、第２回戦に突入したのだった。

やっぱりおいしいな〜、ラム肉は。ジンギスカン料理は最高だね。ごちそうさま。

比類なき強さ
人は彼を鬼神と呼ぶ

お下劣のレッテルを張られたタイムス付録だが、最後はビシッときめちゃうぞ。なんと、誰もが夢見る三国志の武将モデルのコーナーだ。今回は第１回として、『三國志Ⅲ』のパーケージの中心人物、呂布を取り上げてみた。ということは、第2回、第3回もあるということだな。天下無敵の強さを誇った呂布と赤兎馬。じっくり観賞してね。

フィギュア製作　安藤賢司

呂布奉先

丁原、董卓を殺し、父殺しと呼ばれ、彼を迎えることは、虎を呼び込むことだ、と恐れられた呂布。人々から忌み嫌われた彼が生き延びる術は、己の武力以外になかった。董卓から与えられた赤兎馬に跨がり、数々の戦場を駆け抜けた彼を、人は、人中の呂布、馬中の赤兎、と称している。だが、その絶対的な強さという驕りが、自滅の道を進むことになるのだ。

●このフィギュアを３名様にプレゼント!!

この呂布の立ちフィギュア（未着色）を３名にプレゼントします。今後、フィギュアにしてもらいたい武将を書いてね。

〒107-24　東京都港区南青山6-11-1
㈱アスキーログイン編集部　蒙古タイムスプレゼント係

表紙イラスト／椎名美智子

LOGiN 12号特別付録

平成4年6月5日発行（毎月2回第1、第3金曜日発行）第11巻　第12号　通巻150号

Printed in Japan